

教科等研究会（小学校外国語部会）

令和2年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ	外国語の知識・技能を身に付け 主体的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成
---------	--

2 研究経過	第1回			第2回		
期日 7/6	人数 28人	場所 嘉島西小	期日 10/15	場所 嘉島町民会館	スーパーティー チャーに学ぶ研修	

※ 11月17日に蘇陽小学校にて研究授業を実施。

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 研究テーマと研究の視点の設定及び研究組織づくり（期日：令和2年7月6日 場所：嘉島西小）

ア 研究テーマと研究の視点の設定

今年度の研究テーマを「外国語の知識・技能を身に付け、主体的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成」と設定した。そして、研究テーマに掲げる子どもの姿を実現するための授業づくりの視点を設定し、授業実践を行うこととした。

＜研究テーマに掲げる子どもの姿を目指すための授業づくりのポイント＞

- (1) コミュニケーションへの興味・関心や意欲を高める単元の学習課題の設定
- (2) 外国語に十分慣れ親しんだり、知識・技能を定着させたりする活動の充実
- (3) 言語活動の充実
- (4) 振り返りの充実

イ 研究組織づくり

今年度は、研修会の回数も例年より少なかったことから、研究部のみを設置した。

研究部・・・研修内容の企画、事前研への参加、研究授業の運営等の研究推進に関わる。
※メンバーは希望者で構成する。（今年度は6人）

ウ ミニ理論研

昨年度から、会員の授業実践上の課題として、「高学年での読み書きの指導をどのように進めるか。」「単元のゴール設定をどのように進めるか。」等が挙げられていた。

そこで、YouTubeの「文部科学省/mext channel」にアップされている「小学校の外国語教育はこう変わるシリーズから、「④ 言語活動の進め方及び、読むこと・書くことの指導のあり方」、「⑧ 児童の意欲を高めるゴール設定のあり方」を視聴した。動画を視聴した後は、会員どうしでそれぞれの気付きや感想を共有し合った。

② スーパーティーチャーに学ぶ研修（期日：令和2年10月15日 場所：嘉島町民会館）

講師 原口順子 指導教諭（益城町立益城中央小学校）

ア 外国語活動・外国語科の学習評価

最初に、外国語活動・外国語科の学習評価について理解するために、YouTubeの「文部科学省/mext channel」の「なるほど外国語 ③学習評価」を視聴した。動画では、文部科学省初等中等教育局視学官 直山木綿子先生から以下の点についての説明があった。

- ・学習評価に関する資料
- ・学習評価の意義
- ・評価規準の作成（学習評価の観点の趣旨についての理解、評価規準についての理解）
- ・学習評価場面や「指導と評価」についての理解

動画視聴後は、原口先生に、授業における評価方法である行動観察、ワークシート・記述分析、パフォーマンステストについて、説明していただいた。また、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校 外国語・外国語活動）をもとに、学習評価の改善の基本的な方向性について説明していただいた。

その後、実際に話すこと（やり取り）の評価を行った。研究部の先生方に、児童役として3つのパターンのやり取りをしてもらい、会員はそのやり取りを見て、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行った。

3つのパターンのそれぞれの特徴を整理した上で、B評価の児童をA評価まで高めたり、C評価の児童をB評価にしたりするための指導の手立てについて考えた。その指導の手立ての一つとして、スマールトークを実際に行った。



児童役の先生のやり取りを評価する活動の様子



スマールトークの様子

イ 外国語科の授業づくりについて

高学年の外国語科の指導において、教科書の扱い等に悩んでいる会員もいたため、授業づくりの研修を行った。第6学年 Unit 6「Let's think about our food.」の単元のゴールの設定や教科書を使用した第1次～第4次までの流れについて考えた。原口先生からは次のような単元の学習の流れを示していただいた。

<外国語科の各単元の大まかな学習の流れ>

単元の学習過程		主な学習活動
1	Starting Out	表現との出会い、聞く活動、単元のゴール設定
2	Your Turn	やり取り等を通して表現に慣れ親しみ、語句や表現の定着を図る活動
3	Enjoy Communication	目標を達成するためのコミュニケーション活動
4	Over the Horizon	世界や日本の文化に対する理解を深め、言葉の違いに気づいていく活動

また、単元の学習を進める際の教科書の活用法について、学習過程の各段階ごとに説明していただいた。

③ 授業実践

今年度は、外国語活動の研究授業を1回実施した。コロナ禍の中での研究授業ということもあり、次の点に配慮して実施した。

- 研究授業の参観者を研究部のメンバーだけに絞る。
- 授業を参観する研究部のメンバーが研究授業の動画を撮影し、3回目の研修の際に、会員全員で授業の動画を視聴して授業研究会を行う。
- 授業場所は体育館で実施する。
- 児童はマスクとフェースシールドを着用して活動する。

(2) 成果と課題（成果○ ▲課題）

- 「スーパーティーチャーに学ぶ研修」では、原口先生に、本部会の課題となっていた学習評価の進め方や教科書の授業づくりについて、具体的に教えていただいたことで、会員にとって充実した学びになった。
- 授業づくりの視点を設定したことで、研究授業の事前研の際にもポイントを絞って話し合うことができた。
- ▲ 今年度はコロナ禍のため、研究授業等の実施が思うようにできなかった。コロナ禍でもできる研修の進め方について考えていきたい。

4 実践事例（期日：令和2年11月17日 場所：山都町立蘇陽小学校体育館）

(1) 授業の概要（授業者 山都町立蘇陽小学校 山下賢史 教諭 ALT Francisco Rivas）

① 単元構想

単元名	This is for you. カードをおくろう	
単元の目標	(1) 日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。〔知識及び技能〕 (2) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕	
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）		
自分の欲しい色や形について考え、他者に配慮しながら自分の考えなどを伝え合おうとする児童		
単元を通した学習課題		
クリスマスカードを作るために、欲しい色や形を尋ねたり答えたりして伝え合おう。		
指導計画		
過程	時間	学習活動 ※【】は評価の観点
一	1	日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、形や身の回りの物を表す言い方を知る。【知】
	2	形の言い方に慣れ親しむとともに、欲しいものを表す表現を知る。【知】
二	3	色や形、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【知】
	4(本時)	欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。【思】
三	5	相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。【主】



② 研究の視点

研究テーマに掲げる子どもの姿を目指すための授業づくりのポイント	
①	コミュニケーションへの興味・関心や意欲を高める単元の学習課題の設定
②	外国語に十分慣れ親しんだり、知識・技能を定着させたりする活動の充実
③	言語活動の充実
④	振り返りの充実
授業づくりのポイントについての取組	
①	コミュニケーションへの興味・関心や意欲を高める単元の学習課題の設定 ・単元の最後に自分たちで作ったカードをクリスマスカードとして前のALTに送り、クリスマスミニコンサートを開くという活動を設定し、学習に対する意欲を高める。
②	外国語に十分慣れ親しんだり、知識・技能を定着させたりする活動の充実 ・オリジナルのチャンツを作成し、さまざまな色や形の言い方に慣れさせる。 ・クラッシュゲーム、キーワードゲームなどの活動を通して、楽しみながら新しい単語や表現が身につくようにする。
③	言語活動の充実 ・クリスマスカードを作るために、色や形を集めるという目的意識をもたせる。 ・色や形を集める際には、店員と客に分かれてやり取りをするという場面を設定する。
④	振り返りの充実 ・振り返りカードを工夫し、単元のゴールへの見通しを持ち、授業ごとに自分の成長を感じたり、次の時間への意欲を持ったりすることができるようにする。

③ 本時の学習

ア 目標 欲しい色や形について尋ねたり答えたりして伝え合う。

イ 展開 (4/5)

過程	時間	学習活動(◇予想される児童の反応)	指導上の留意点及び評価等
導入	5分	<p>1 Greeting & Warming up</p> <p>2 Let's Chant & Let's sing "Hello song" "What do you want?"</p> <p>3 Today's Goal 本時のめあてをつかむ</p>	<p>○基本的な挨拶やALTからの質問で授業を開始し、英語学習への意欲を高める。</p> <p>○チャンツはオリジナルのものを作成し、いろいろな形や色を言えるようにする。</p> <p>○送る相手から届いたビデオメッセージを見て、学習の意欲を高める。</p>
【めあて】クリスマスカードに使う形を集めよう			
展開	35分	<p>4 Let's play ミッションゲーム</p> <p>5 伝え方について考える。</p> <p>6 Activity (1) お店グループとお客さんグループに分かれてクリスマスカードに使う形を集める。</p>  <p>(2) 中間評価を行い、お手本になるやり取りを紹介する</p> <p>(3) グループを交代してカード集めを行う。</p> <p>(4) できたカードを全体で紹介する。</p> 	<p>○ALTの指示した色や形のカードを既習表現を用いてやり取りしながら集めさせることで、表現に慣れ親しませる。</p> <p>○Let's playでのやり取りを振り返り、どんなことを言ったら自分の欲しいものが伝わるかを確認する。</p> <p>○発言に戸惑っている児童には言いたいことを尋ねたり、キーワードを示したりする。</p> <p>○手本となるやり取りを見た後に、どこが参考になるのかを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【話すこと(やり取り)】 〈思考・判断・表現〉(行動観察) 相手に伝えるように欲しい色や形のカードを尋ねたり答えたりしている。</p> </div> <p>○カードを紹介し合うことで、活動の達成感を味わわせる。</p>
終末	5分	<p>7 Looking back 振り返りカードに記入する。 2～3名発表する。</p> <p>8 Ending あいさつをする。</p>	<p>○友達とのやりとりで工夫したことや目標が達成できたかどうかなどを振り返って書くように促す。</p> <p>○ALTが児童の活動について評価のコメントを伝える。</p>

